

第3回 調布市議会定例会より



一般質問

おぎくぼ 貞寛議員

鉄道・高速道路の震災対策と住宅の耐震改修

1. 調布には、交通の大動脈である中央自動車道が東西に走っている。また、京王電鉄線の地下化工事が始まり、慢性的な渋滞解消を図る外環道が計画されている。都市生活に大きな役割とともに、震災時に緊急物資などの輸送を担うこれらを巨大地震からどのように守るのか、安全対策を強く求めた。
2. 次に、大きな地震による犠牲者の多くは、地震直後の家屋の倒壊や家具の転倒が主な原因である。それだけに家屋の耐震補強による備えは極めて重要であると主張する。特に、耐震補強の耐震シェルターや防災ベッドの設置助成については、費用負担も少なく地震直後の身の安全を守るために有効な方法の一つである。耐震化の進捗状況に応じて助成を検討する旨の答弁をいただく。

一般質問

小林 いちゆき議員

1. 妊産婦検診の無料回数を14回まで拡充すべき。
2. 健診助成を里帰り出産まで拡充すべき。
3. こども医療費を中学3年生まで所得制限無しで拡充すべき。
4. 病後児保育を増設すべき。
5. 家庭内保育を支援するための一時保育を拡充すべき。
6. おむつがえや授乳できるスペースPRを。



一般質問

たちばな 正俊議員

1. ゲリラ的集中豪雨に対する対策強化を要請。
2. 新たな平和事業の取り組みとして中学校の修学旅行に被爆地・広島や長崎も候補地として検討すべきでは、と提案。
3. 地上デジタル放送の受信対応を要請。
4. 高齢者支援として「肺炎球菌ワクチンの予防接種補助」を提案。



一般質問

内藤 みきこ議員

市民の安全・安心のため「防災対策のさらなる強化」について

1. 地震によって、学校施設の非構造部材（窓ガラス・天井など）が落下する被害が続出。早急に緊急点検の実施や補強工事等の安全対策を。
2. 「災害救援型自動販売機」は、災害時には無料で飲料水を提供し、災害情報をテロップで流すことができる。公共施設など市内全域に設置を。
3. AED（自動体外式除細動器）について、市内のコンビニや事業所など設置場所の情報提供を。

市民課業務の効率化について

1. 窓口業務の繁忙期対策として、業務の一部民間委託の導入や業務の簡素化を図るためシステムの現状及び改善策は。
2. 市民への効率的なサービスを提供するため、駅前に出張所の開設を。さらに電話予約サービスによる証明書等の受け取りや土・日曜日の休日窓口を自宅近くの施設で対応できるよう対策を図るべきでは。

くらし・市への要望等お気軽にご相談ください!



たちばな正俊
090-8119-1492



おぎくぼ貞寛
090-2553-7958



内藤みき子
042-487-7658



福山めぐみ
090-8518-2559



小林いちゆき
090-9808-8380